



8/20  
五郎

沖縄のたたかいに連帯する参加者ら=18日、福井市

## 戦争法廃止、沖縄に連帯

### 福井で集会 市民結集呼び掛け

福井県の「戦争する国づくり反対・ふくい総がかりアクション」は18日、「戦争法廃止！沖縄の運動に連帯する集会」を福井市の県教育センターで開催、約90人が参加しました。

屋敷緑美代表は、市民と野党の共闘でたたかった参院選と改憲勢力が衆参両院とも改憲の発議に必要な3分の2の議席を得て、憲

法審査会も再開される危険な状況にふれました。そのうえで、自民党政権草案の問題点と日本国憲法の一大学習運動や街頭宣伝の強化を提起し、「地域の活動を通じて、できるだけ多くの市民を結集する必要がある」と呼びかけました。

大湾（おおわん）宗則・元京都沖縄県人会会長が講演しました。

米軍普天間基地の撤去、辺野古新基地建設の阻止、高江ヘリパッド建設反対に加え、嘉手納基地爆音訴訟原告団の「基地全面撤去」決議、八重山・宮古の自衛隊配備反対など、沖縄全土の全基地撤去のたたかいに発展しつつある現状を紹介しました。このたたかいを突き破ることができた。

沖縄県民大会（6月19日、那覇市）に行っているのは、沖縄と本土が本当に手を取り合ったとき」だと強調しました。

自分の田で沖縄の実態をつぶさに見ることができた。この発言があ大事だ」との発言がありました。